

いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」
に基づく統計量推計結果
(令和2年7月～9月・暫定値)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

令和3年3月

岩手県商工労働観光部
観光・プロモーション室

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	1
(5) 集計対象（範囲）	2
(6) 用語の定義	2
(7) その他	3
① 延べ人数と実人数について	3
② 調査エリアについて	3
2. 調査結果	4
(1) 調査対象地点数	4
(2) パラメータ調査地点及び取得調査票数	4
(3) 観光地点等入込客数（延べ人数）	5
① 総数	5
② 地域別入込客数	5
③ 月別入込客数	5
④ 市町村別・月別入込客数	6
⑤ 地域別・分類別入込割合	7
(4) 観光入込客数（実人数）	8
(5) 観光消費額	12
① 観光消費額単価（宿泊日帰り別・県外県内別）	12
② 観光消費額（宿泊日帰り別・県外県内別）	14

※ 本資料の数値は暫定値のため、年間の確定値（令和2年1月～12月）資料において、数値が変わる場合があります。

1. 調査概要

(1) 調査対象期間

令和2年7月1日～令和2年9月30日

(2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。また、観光立国推進基本計画（平成19年9月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

(3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

① 観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

② 観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

③ 他の統計調査

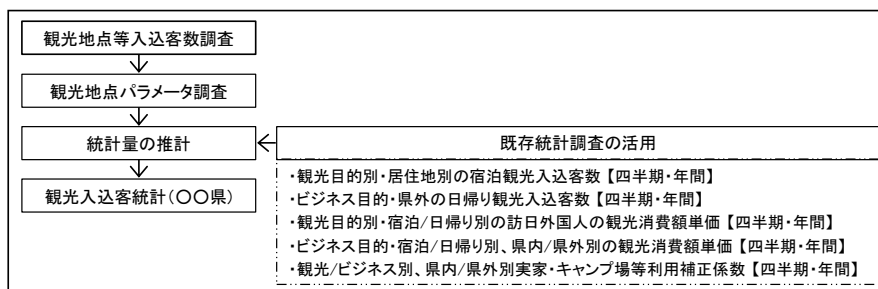
上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

(4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県だが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

図1 観光入込客統計の調査体系



(5) 集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の 3 つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ① 非日常利用が多い（月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③ 観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が 5 千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年 1 月 1 日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1 度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

(6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して 1 年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても 1 人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客 1 人の 1 回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客 1 人の 1 回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

(7) その他

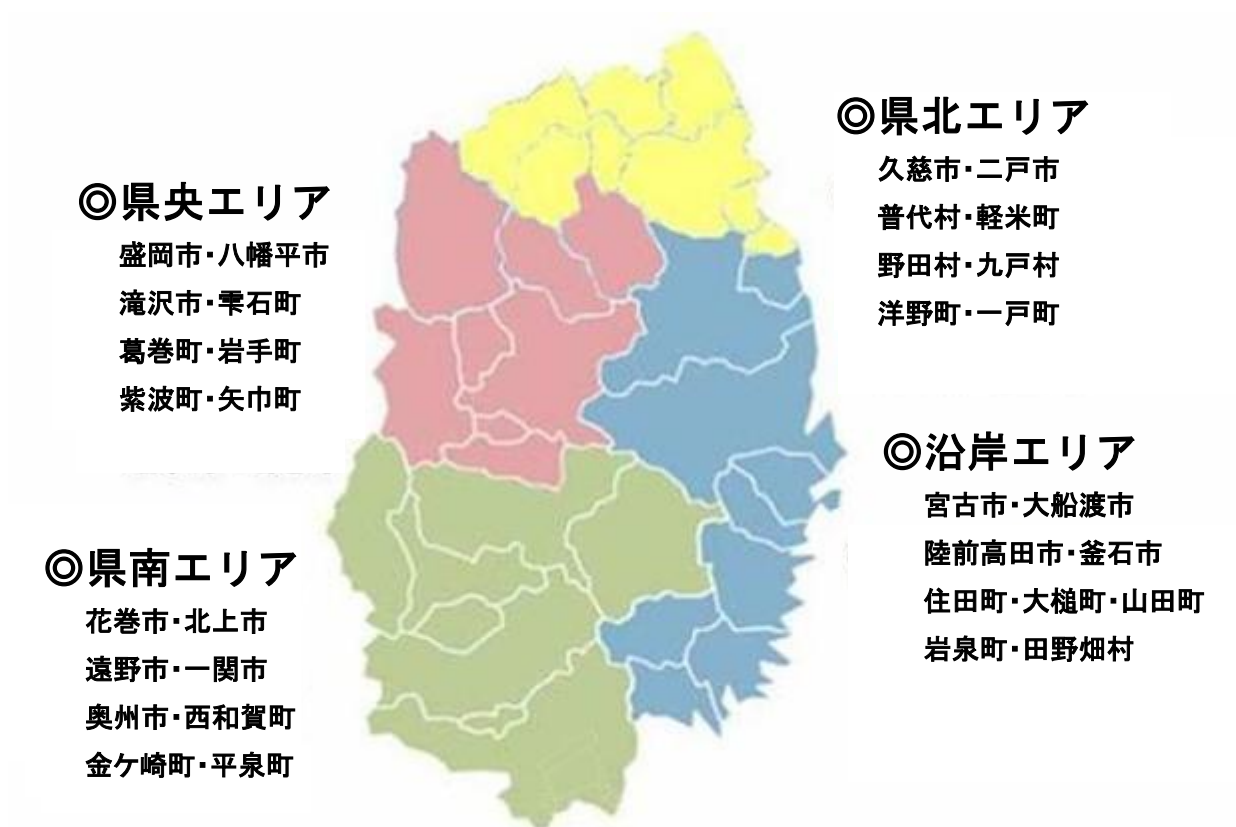
① 延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

② 調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。

図2 調査エリア



2. 調査結果

(1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表1に示すとおり。観光地点総数が296、行祭事・イベント数が126である。

表1 調査対象地点数

総計	観光地点計							行祭事・イベント	内、当該四半期分
	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光(買物・食等)	その他			
422	296	39	63	75	57	33	29	126	7

(2) パラメータ調査地点及び取得調査票数

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 令和2年8月

[調査地点] 表2に示すとおり、岩手県内の観光地点10地点で実施

[調査内容] 観光の目的、訪問(予定)観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など、観光に係る項目

[調査票回収件数] 844件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表2 アンケート調査票件数、旅行人数(調査地点別)

調査地点	市町村	地域	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数(本人含む)
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	8/10	67	213
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	8/9	87	267
小岩井農場	雫石町	県央地域	8/30	77	283
えさし藤原の郷	奥州市	県南地域	8/9, 8/22	81	203
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	8/8	98	255
中尊寺(町営第一駐車場)	平泉町	県南地域	8/23	90	274
浄土ヶ浜ビジターセンター	宮古市	沿岸地域	8/22, 8/23	73	191
道の駅高田松原	陸前高田市	沿岸地域	8/22, 8/23	81	304
道の駅くじやませ土風館	久慈市	県北地域	8/22, 8/23	93	255
なにや〜と物産センター	二戸市	県北地域	8/29, 8/30	97	213
合計				844	2,458

(3) 観光地点等入込客数（延べ人数）

① 総数

令和2年7月～9月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で4,672,069人回となり、前年同期比では44.9%、東日本大震災発災前の平成22年同期比では44.4%となった。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（以下「緊急事態宣言」という。）は解除され、Go To トラベル事業※が開始されていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受けての外出自粛やイベント自粛等により、いずれも大幅に下回る結果となった。

※ 7月22日：Go To トラベル事業開始（東京都を除く）

② 地域別入込客数

岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の入込客数は、表3に示すとおりである。県南エリアが1,751,246人回と最も多かった。

前年同期比は、県央エリアが31.8%、県南エリアが49.7%、沿岸エリアが57.7%、県北エリアが54.0%と、いずれも前年を大幅に下回る結果となった。

表3 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	7月	8月	9月	令和2年 7-9月期 合計	令和元年 同期比	令和元年 7-9月期 合計	平成22年 同期比	平成22年 7-9月期 合計
県央エリア	358,068	396,369	489,780	1,244,217	31.8%	3,916,623	35.7%	3,485,788
県南エリア	488,664	622,110	640,472	1,751,246	49.7%	3,521,270	47.9%	3,655,844
沿岸エリア	326,955	471,243	349,366	1,147,564	57.7%	1,989,253	49.2%	2,332,593
県北エリア	171,154	192,490	165,398	529,042	54.0%	980,258	50.2%	1,053,219
総計	1,344,841	1,682,212	1,645,016	4,672,069	44.9%	10,407,404	44.4%	10,527,444

※ 「平成22年同期」及び「平成22年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成22年度7-9月期（平成22年7-9月）であること。

③ 月別入込客数

岩手県全体での月別入込客数（延べ人数）は表4に示すとおりである。

8月が1,682,212人回と最も多い。前年比では、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受けての外出自粛やイベント自粛等により、8月は30%台となったが、7月及び9月は60%前後となり回復基調に転じた。平成22年比では、7月が54.3%、8月が31.0%、9月が62.6%と、いずれも震災前を大幅に下回る結果となった。

表4 月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

月	令和2年	令和元年比	令和元年	平成22年比	平成22年
7月	1,344,841	60.0%	2,242,054	54.3%	2,477,763
8月	1,682,212	31.3%	5,371,289	31.0%	5,421,121
9月	1,645,016	58.9%	2,794,061	62.6%	2,628,560

※ 「平成22年」は東日本大震災発災前の平成22年度7-9月期（平成22年7-9月）であること。

④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表5に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは一関市の469,426人回で、次いで宮古市の440,642人回、盛岡市の370,144人回、花巻市の334,645人回となった。また、前年同期比では、陸前高田市が90.8%と最も高いものの、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受けての外出自粛やイベント自粛等により、すべての自治体で前年同期を下回っている。

表5 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域	市町村	7月	8月	9月	7-9月期合計	令和元年 同期比	令和元年 7-9月期合計	平成22年 同期比	平成22年 7-9月期合計
県央エリア	盛岡市	115,670	113,985	140,489	370,144	15.8%	2,344,015	17.9%	2,063,990
	八幡平市	77,014	88,300	97,500	262,814	59.7%	439,990	85.0%	309,234
	滝沢市	10,357	10,882	26,738	47,977	26.0%	184,711	47.8%	100,371
	雫石町	79,637	98,765	120,563	298,965	60.8%	491,963	55.3%	540,321
	葛巻町	16,848	20,282	18,147	55,277	36.5%	151,467	38.9%	142,013
	岩手町	16,894	20,017	21,659	58,570	82.6%	70,940	88.4%	66,263
	紫波町	33,176	36,499	55,681	125,356	77.2%	162,393	70.6%	177,477
	矢巾町	8,472	7,639	9,003	25,114	35.3%	71,144	29.2%	86,119
	小計	358,068	396,369	489,780	1,244,217	31.8%	3,916,623	35.7%	3,485,788
県南エリア	花巻市	86,440	104,422	143,783	334,645	42.7%	784,012	44.0%	759,860
	北上市	24,226	26,454	29,755	80,435	21.9%	367,937	24.0%	335,700
	遠野市	100,064	134,896	93,991	328,951	58.0%	567,118	47.9%	687,357
	一関市	128,850	177,854	162,722	469,426	60.0%	783,009	55.0%	853,592
	奥州市	62,361	65,005	73,428	200,794	50.0%	401,926	47.2%	425,555
	西和賀町	26,529	29,240	27,570	83,339	83.9%	99,355	68.1%	122,462
	金ヶ崎町	21,227	19,375	20,615	61,217	72.2%	84,822	67.9%	90,143
	平泉町	38,967	64,864	88,608	192,439	44.4%	433,091	50.5%	381,175
	小計	488,664	622,110	640,472	1,751,246	49.7%	3,521,270	47.9%	3,655,844
沿岸エリア	宮古市	123,529	194,224	122,889	440,642	59.3%	743,439	111.9%	393,895
	大船渡市	38,356	46,537	37,770	122,663	46.0%	266,464	28.3%	433,978
	陸前高田市	68,348	88,096	82,104	238,548	90.8%	262,625	46.1%	517,923
	釜石市	37,485	41,631	38,903	118,019	48.8%	241,711	39.2%	301,231
	住田町	4,648	5,922	4,737	15,307	51.9%	29,495	40.4%	37,867
	大槌町	7,008	8,880	6,988	22,876	55.6%	41,163	23.8%	96,145
	山田町	13,762	23,394	12,974	50,130	57.0%	87,945	53.2%	94,166
	岩泉町	28,257	50,349	34,636	113,242	69.5%	163,011	57.0%	198,658
	田野畑村	5,562	12,210	8,365	26,137	17.0%	153,400	10.1%	258,730
	小計	326,955	471,243	349,366	1,147,564	57.7%	1,989,253	49.2%	2,332,593
県北エリア	久慈市	36,766	47,189	34,021	117,976	36.8%	320,772	42.7%	276,270
	二戸市	21,253	21,355	20,946	63,554	64.8%	98,046	35.4%	179,294
	普代村	3,963	4,985	3,147	12,095	41.3%	29,311	102.7%	11,772
	軽米町	11,382	13,425	13,457	38,264	57.4%	66,609	48.1%	79,516
	野田村	20,873	22,380	21,285	64,538	82.3%	78,384	68.7%	93,891
	九戸村	2,970	2,910	2,836	8,716	87.4%	9,972	41.9%	20,795
	洋野町	59,325	62,156	52,070	173,551	73.2%	237,024	73.2%	237,250
	一戸町	14,622	18,090	17,636	50,348	35.9%	140,140	32.6%	154,431
	小計	171,154	192,490	165,398	529,042	54.0%	980,258	50.2%	1,053,219
総計	1,344,841	1,682,212	1,645,016	4,672,069	44.9%	10,407,404	44.4%	10,527,444	

※ 「平成22年同期」及び「平成22年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成22年度7-9月期（平成22年7-9月）であること。

⑤ 地域別・分類別入込割合

岩手県内の地域別・分類別の入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表6及び図3に示すとおりである。

岩手県全体でみると、「その他」を除いては「温泉・健康」の入込が953,948人回と最も多く、県央エリア及び県南エリアで最も多い入込客数を占める分類となっている。なお、沿岸エリアでは「その他」、県北エリアでは「都市型観光（買物・食等）」が、それぞれ最も多い入込客数を占める分類となっている。

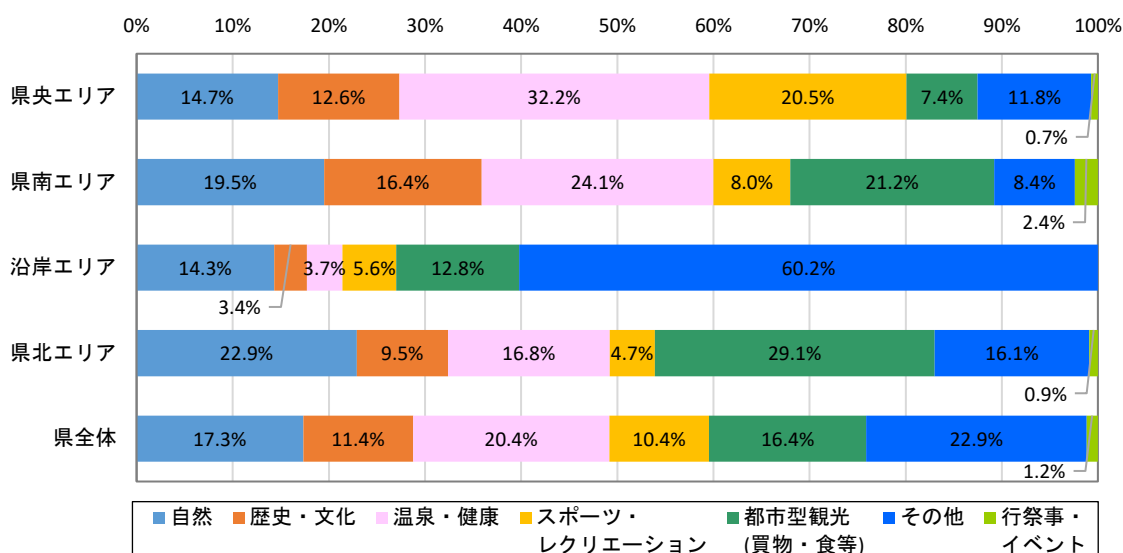
また、新型コロナウイルス感染症の影響拡大等により、一部を除く行祭事・イベントが中止されたことから、行祭事・イベントの入込客数は対前年同期比1.8%（前年同期3,143,588人回）と大幅に下回っている。

表6 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食等）	その他	行祭事・イベント	合計
県央エリア	183,152	157,319	400,185	255,301	92,566	147,194	8,500	1,244,217
県南エリア	341,041	287,577	422,387	140,534	370,446	147,044	42,217	1,751,246
沿岸エリア	164,396	38,703	42,582	63,782	146,836	691,265	0	1,147,564
県北エリア	121,076	50,059	88,794	25,122	154,146	85,045	4,800	529,042
総計	809,665	533,658	953,948	484,739	763,994	1,070,548	55,517	4,672,069

図3 地域別・分類別入込割合（延べ人数から算出）



※ 端数処理の関係で、合計値が100%にならない場合がある。

(4) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は次頁の表7及びP.10の表8に示すとおりである。（実人数は、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても1人・回と数える。）

総数は2,761千人・回で、宿泊・日帰り別では、日帰りが1,778千人・回で64.4%を占めている。また、県外・県内別では、県内が1,721千人・回で62.3%を占めている。

増減率をみると、総数は対前年同期比75.6%となっている。

目的別では、観光目的は対前年同期比76.8%であり、宿泊は同63.5%、日帰りが同81.8%と減少している。また、ビジネス目的は、対前年同期比70.9%であり、宿泊が同72.0%、日帰りは同63.6%と減少している。

宿泊・日帰り別では、宿泊は対前年同期比67.5%、日帰りは同80.9%と減少している。

また、これを県外・県内別でみると、県外が対前年同期比59.0%、県内が同91.1%と、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受けての外出自粛等の影響により、県外からの入込客数が大幅に下回っている。一方、Go To トラベル事業による観光需要の喚起等により、観光目的の県内宿泊は対前年同期比107.4%と上回っている。

表7 宿泊日帰り別・県外県内別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			7-9月期 合計	
	宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内		
観光目的	令和2年7-9月期 入込客数合計	496	250	246	1,708	440	1,268	2,204
	観光目的構成比	22.5%	11.3%	11.2%	77.5%	20.0%	57.5%	100.0%
	令和元年同期比	63.5%	45.3%	107.4%	81.8%	70.6%	86.6%	76.8%
	令和元年7-9月期 入込客数合計	781	552	229	2,087	623	1,464	2,868
	平成22年同期比	60.5%	45.8%	89.8%	68.9%	45.1%	84.4%	66.8%
	平成22年7-9月期 入込客数合計	820	546	274	2,478	976	1,502	3,298
ビジネス目的	令和2年7-9月期 入込客数合計	487	280	207	70	70	-	557
	ビジネス目的構成比	87.4%	50.3%	37.2%	12.6%	12.6%	-	100.0%
	令和元年同期比	72.0%	58.5%	105.1%	63.6%	63.6%	-	70.9%
	令和元年7-9月期 入込客数合計	676	479	197	110	110	-	786
	平成22年同期比	97.4%	76.9%	152.2%	411.8%	777.8%	-	107.7%
	平成22年7-9月期 入込客数合計	500	364	136	17	9	8	517
合計	令和2年7-9月期 入込客数合計	983	530	453	1,778	510	1,268	2,761
	構成比	35.6%	19.2%	16.4%	64.4%	18.5%	45.9%	100.0%
	令和元年同期比	67.5%	51.4%	106.3%	80.9%	69.6%	86.6%	75.6%
	令和元年7-9月期 入込客数合計	1,457	1,031	426	2,197	733	1,464	3,654
	平成22年同期比	74.5%	58.2%	110.5%	71.3%	51.8%	84.0%	72.4%
	平成22年7-9月期 入込客数合計	1,320	910	410	2,495	985	1,510	3,815

※ 「平成22年同期」及び「平成22年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成22年度7-9月期（平成22年7-9月）であること。

※ 端数処理の関係で、合計値が合わない場合がある。

※ 入込客数には訪日外国人を含まない。

表8 県外県内別・宿泊日帰り別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			7-9月期	
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	合計	
観光目的	令和2年7-9月期 入込客数合計	690	250	440	1,514	246	1,268	2,204
	観光目的構成比	31.3%	11.3%	20.0%	68.7%	11.2%	57.5%	100.0%
	令和元年同期比	58.7%	45.3%	70.6%	89.4%	107.4%	86.6%	76.8%
	令和元年7-9月期 入込客数合計	1,175	552	623	1,693	229	1,464	2,868
	平成22年同期比	45.3%	45.8%	45.1%	85.2%	89.8%	84.4%	66.8%
	平成22年7-9月期 入込客数合計	1,522	546	976	1,776	274	1,502	3,298
ビジネス目的	令和2年7-9月期 入込客数合計	350	280	70	207	207	-	557
	ビジネス目的構成比	62.8%	50.3%	12.6%	37.2%	37.2%	-	100.0%
	令和元年同期比	59.4%	58.5%	63.6%	105.1%	105.1%	-	70.9%
	令和元年7-9月期 入込客数合計	589	479	110	197	197	-	786
	平成22年同期比	93.8%	76.9%	777.8%	143.8%	152.2%	-	107.7%
	平成22年7-9月期 入込客数合計	373	364	9	144	136	8	517
合計	令和2年7-9月期 入込客数合計	1,040	530	510	1,721	453	1,268	2,761
	構成比	37.7%	19.2%	18.5%	62.3%	16.4%	45.9%	100.0%
	令和元年同期比	59.0%	51.4%	69.6%	91.1%	106.3%	86.6%	75.6%
	令和元年7-9月期 入込客数合計	1,764	1,031	733	1,890	426	1,464	3,654
	平成22年同期比	54.9%	58.2%	51.8%	89.6%	110.5%	84.0%	72.4%
	平成22年7-9月期 入込客数合計	1,895	910	985	1,920	410	1,510	3,815

※ 「平成22年同期」及び「平成22年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成22年度7-9月期（平成22年7-9月）であること。

※ 端数処理の関係で、合計値が合わない場合がある。

※ 入込客数には訪日外国人を含まない。

また、岩手県を訪れた訪日外国人入込客は表9に示すとおりである。新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、多くの国で海外渡航制限等の措置が取られていること、日本においても検疫強化や査証の無効化等の措置が取られていること等により、対前年同期比 2.3%と大幅に減少した。

表9 宿泊日帰り別・観光等ビジネス別訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			7-9月期 合計
	宿泊計	観光等	ビジネス	日帰り計	観光等	ビジネス	
令和2年7-9月期 入込客数合計	1	0	1	-	-	-	1
令和元年同期比	2.3%	0.0%	7.7%	-	-	-	2.3%
令和元年7-9月期 入込客数合計	43	30	13	-	-	-	43
平成22年同期比	6.7%	0.0%	33.3%	-	-	-	6.7%
平成22年7-9月期 入込客数合計	15	12	3	-	-	-	15

※ 「平成22年同期」及び「平成22年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成22年度7-9月期（平成22年7-9月）であること。

(5) 観光消費額

① 観光消費額単価（宿泊日帰り別・県外県内別）

観光消費額単価は表 10 及び次頁の表 11 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

宿泊日帰り別・県外県内別の観光消費額単価は表 10 に示すとおりである。観光目的の観光消費額単価は、県内日帰りのみ、前年を上回っている。また、ビジネス目的の観光消費額単価は、県内宿泊及び県内日帰りについて、前年を上回っている。

なお、観光消費額単価は、パラメータ調査（サンプル調査）での値であり、ビジネス目的の観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 10 宿泊日帰り別・県外県内別観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目		宿泊		日帰り	
		県外	県内	県外	県内
観光目的	令和2年7-9月期 観光消費額単価	22,462	15,141	4,548	3,065
	令和元年同期比	90.5%	88.7%	78.5%	101.7%
	令和元年7-9月期 観光消費額単価	24,813	17,079	5,792	3,014
	平成 22 年同期比	70.6%	69.2%	33.2%	79.0%
	平成 22 年7-9月期 観光消費額単価	31,798	21,877	13,690	3,881
ビジネス目的	令和2年7-9月期 観光消費額単価	30,034	24,410	5,795	5,085
	令和元年同期比	96.5%	101.7%	58.4%	105.0%
	令和元年7-9月期 観光消費額単価	31,136	24,011	9,924	4,842
	平成 22 年同期比	79.6%	-	25.8%	158.9%
	平成 22 年7-9月期 観光消費額単価	37,718	-	22,466	3,200

※ 「平成 22 年同期」及び「平成 22 年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度7-9月期（平成 22 年7-9月）であること。

※ 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

宿泊日帰り別・観光等ビジネス別の訪日外国人観光消費額単価は表 11 に示すとおりである。

新型コロナウイルスの影響により「訪日外国人消費動向調査」が実施されておらず、令和2年7-9月期の観光庁提供データは「訪日外国人客消費額単価」データが欠測となっていること、及び、パラメータ調査で訪日外国人のサンプルをほぼ取得できなかったことから、令和2年7-9月期の訪日外国人観光消費額単価は欠損となった。

前述のとおり、観光消費額単価は、パラメータ調査（サンプル調査）での値であり、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 11 宿泊日帰り別・観光等ビジネス別訪日外国人観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス
令和2年7-9月期 観光消費額単価	-	-	-	-
令和元年同期比	-	-	-	-
令和元年7-9月期 観光消費額単価	19,071	173,378	7,711	10,131
平成 22 年同期比	-	-	-	-
平成 22 年7-9月期 観光消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

※ 「平成 22 年同期」及び「平成 22 年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度7-9月期（平成 22 年7-9月）であること。

② 観光消費額（宿泊日帰り別・県外県内別）

観光消費額は表 12 及び次頁の表 13 に示すとおりである。

宿泊日帰り別・県外県内別観光消費額は表 12 に示すとおりである。

宿泊日帰り別・県外県内別観光消費額の総額（訪日外国人を除く）は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による入込客数の大幅な減少を受け、対前年同期比 60.2%と大幅に減少した。

ここで示す観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、P.9 の表 7 及び P.10 の表 8 に示した観光入込客数を掛け合わせた金額であることから、ビジネス目的の観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値により算出される観光消費額については、1 回答者の金額の影響が大きくなり、割合の増減も大きくなると考えられる。

表 12 宿泊日帰り別・県外県内別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額	
	宿泊 総額	県外	県内	日帰り 総額	県外	県内		
観光目的	令和2年7-9月期 観光消費額	9,353	5,624	3,729	5,888	2,003	3,885	15,241
	令和元年同期比	47.7%	35.8%	95.2%	73.4%	55.5%	88.1%	55.2%
	令和元年7-9月期 観光消費額	19,608	15,689	3,919	8,021	3,609	4,412	27,629
	平成 22 年同期比	40.0%	32.4%	62.2%	30.7%	15.0%	66.6%	35.8%
	平成 22 年7-9月期 観光消費額	23,372	17,373	5,999	19,195	13,365	5,830	42,567
ビジネス目的	令和2年7-9月期 観光消費額	13,458	8,399	5,059	405	403	2	13,863
	令和元年同期比	68.5%	56.3%	106.9%	37.1%	36.9%	-	66.9%
	令和元年7-9月期 観光消費額	19,642	14,911	4,731	1,093	1,093	-	20,735
	平成 22 年同期比	98.1%	61.2%	-	179.2%	199.5%	8.3%	99.4%
	平成 22 年7-9月期 観光消費額	13,714	13,714	-	226	202	24	13,940
合計	令和2年7-9月期 観光消費額	22,811	14,023	8,788	6,293	2,406	3,887	29,104
	令和元年同期比	58.1%	45.8%	101.6%	69.0%	51.2%	88.1%	60.2%
	令和元年7-9月期 観光消費額	39,250	30,600	8,650	9,114	4,702	4,412	48,364
	平成 22 年同期比	61.5%	45.1%	146.5%	32.4%	17.7%	66.4%	51.5%
	平成 22 年7-9月期 観光消費額	37,086	31,087	5,999	19,421	13,567	5,854	56,507

※ 「平成 22 年同期」及び「平成 22 年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度7-9月期（平成 22 年7-9月）であること。

※ 端数処理の関係で、合計値が合わない場合がある。

※ 観光消費額には訪日外国人を含まない。

宿泊日帰り別・観光等ビジネス別の訪日外国人観光消費額は表 13 に示すとおりである。

新型コロナウイルスの影響により「訪日外国人消費動向調査」が実施されておらず、令和2年7-9月期の観光庁提供データは「訪日外国人客消費額単価」データが欠測となっていること、及び、パラメータ調査で訪日外国人のサンプルをほぼ取得できなかったことから、令和2年7-9月期の訪日外国人観光消費額は欠損となった。

ここで示す観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、P.11 の表 9 に示した観光入込客数を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値により算出される訪日外国人観光消費額については、1 回答者の金額の影響が大きいことに注意が必要となっている。

表 13 宿泊日帰り別・観光等ビジネス別訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊 総額	観光等	ビジネス	日帰り 総額	観光等	ビジネス	
令和2年7-9月期 観光消費額	-	-	-	-	-	-	-
令和元年同期比	-	-	-	-	-	-	-
令和元年7-9月期 観光消費額	2,758	570	2,188	-	-	-	2,758
平成 22 年同期比	-	-	-	-	-	-	-
平成 22 年7-9月期 観光消費額	871	541	330	-	-	-	871

※ 「平成 22 年同期」及び「平成 22 年7-9月期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度7-9月期（平成 22 年7-9月）であること。